

製品安全データシート

作成:2007年 7月20日

改訂:2011年 1月 7日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF081-02
製品名 : エコマスターBT
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : 生産資材部生産業務課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3827-0825
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分できない
	急性毒性(経皮)	: 区分5
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2A
	皮膚感作性	: 区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性(慢性)	: 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報

- ・皮膚に接触すると有害のおそれ
- ・強い眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・長期的影響により水生生物に有害

注意書き

【予防策】

- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ミスト、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。

【対応】

- ・眼に入った場合、直ちに清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。

- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時は医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

成分及び含有量：バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

		10.0%
<その他>	糖類・界面活性剂等	90.0%

官報公示整理番号：	化審法	非該当
	安衛法	非該当

C A S No. : 68038-71-1 バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：二酸化炭素、粉末、泡（初期火災）、泡消化剤、水噴霧（大規模火災）

用いて空気を遮断する。

消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。燃焼または高温により有毒ガス（一酸化炭素等）が発生することがあるので、呼吸用保護具を着用する。容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動ができない時は、容器に注水または周囲に散水して冷却する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

消火活動上の注意：消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、粉末等が皮膚に付着したり、粉塵、ミスト、ガスを吸入しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火源となるものは速やかに取り除く、着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。漏洩した場所の周辺にロープなどを張るなどしてして関係者以外の立入りを禁止する。こぼれた場所は滑りやすいので注意する。

環境影響に対する注意：漏出物を河川や下水に流してはいけない。

流出物の処理に対する注意：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。適切ならば、粉塵を防ぐためにまず湿らせる。真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で回収する。汚染した箇所を洗剤と水で洗浄し、洗浄水は全て密閉できる容器（廃棄物入れ）に回収する。処分は廃棄上の注意に従い処分する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：換気の良い場所で取扱う。屋内で取扱う場合は、できるだけ風上から作業する。取扱い場所近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用して取扱う。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗い、うがいをする。また、休憩場所には汚染された保護具を持ち込まない。

火災・爆発の防止：通気をよくし、蒸気が滞留しないようにする。可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

接触禁止物質：強酸化剤

保管上の注意：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. 暴露防止措置

管理濃度：鉱物性粉じん $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$

E：管理濃度(mg/m³) Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)

(作業環境評価基準 平成21年厚生労働省告示第195号 平成21年3月31日)

許容濃度：日本産業衛生学会(2005年度版)：4mg/m³ (粉塵として)

ACGIH TLV (2005年度版)：総ダストとしてTWA10mg/m³

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用する。取扱い場所近くに、緊急時に洗身シャワー、手洗い、洗眼を行うための設備を設ける。

衛生対策：発散した粉塵・蒸気・ミストを吸い込まないように適切な保護具を着用して取扱う。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク

保護手袋：ゴム手袋 (不浸透性)

保護眼鏡：保護眼鏡、保護面

保護衣：保護服、帽子、ゴム等の前掛け、長靴等

9. 物理・化学的性質

外観等	： 褐色水和性細粒および微粒
臭い	： データなし
pH	： データなし
引火点	： データなし
燃焼又は爆発範囲	： データなし
密度・比重	： データなし
溶解度	： データなし
その他データ	： 特になし

10. 安定性及び反応性

安定性	： 通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	： データなし
避けるべき条件	： データなし
混触危険物質	： データなし
危険有害な分解生成物	： 燃焼により、一酸化炭素等が発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	： ラット(♂ ♀) LD ₅₀	>2 × 10 ⁸ CFU/動物
急性毒性 (経皮)	： ウサギ(♂ ♀) LD ₅₀	>2000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	： ウサギ	軽度の刺激性あり
眼に対する重篤な損傷/刺激性	： ウサギ	軽度の刺激性あり
皮膚感作性	： モルモット	感作性あり
		かぶれやす体質の人は取扱いに十分注意すること。
生殖細胞変異原性	： データなし	

発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: データなし
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC ₅₀	>50 mg/L (エスマルクDF)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC ₅₀	>50 mg/L (エスマルクDF)
藻類	: データなし	
残留性／分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壌中の移動性	: データなし	
その他	: 漏出物を河川や下水に流してはいけない。	

1 3. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類	: 非該当
国連番号	:

1 5. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第21944号
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 粉塵障害防止規則
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当

1 6. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献 : 1) J I S Z 7 2 5 2 : 2 0 0 9 G H Sに基づく化学物質等の分類方法
 2) G H S対応ガイドライン 製品安全性データシートの作成指針(改訂2版)
 平成20年10月 社団法人 日本化学工業協会
 3) 農薬中毒の症状と治療法 第13版 平成22年4月 農薬工業会

作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター

大 阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。